

碧南市教育委員会 10月定例会議事日程表

令和4年10月20日（木）

午後2時～

碧南市役所4階 庁議室

1 開会の辞

2 教育長報告

3 前回会議録の承認について

4 議 案

(1) 協議事項

ア 碧南市民図書館雑誌スポンサー制度実施規程の制定について（資料1）
（生涯学習課）

イ 令和4年度碧南市教育委員会点検・評価報告書について（別添資料1）
（庶務課）

ウ 令和5年度教職員定期人事異動方針について（当日資料）
（学校教育課）

(2) 報告事項

ア 9月議会一般質問内容及び回答について（資料2）
（関係各課）

(3) その他

ア 各課報告

イ 11月定例会 11月24日（木）午後2時30分から
碧南市役所4階 庁議室

5 閉会の辞

協議事項ア 碧南市民図書館雑誌スポンサー制度実施規程について（生涯学習課）

1 制定の理由

碧南市民図書館（以下「図書館」という）に配架する雑誌のうち、特定の雑誌の購入費用を法人その他の団体が負担することにより、雑誌コーナーを充実させ、市民サービスの向上を図るものとする。

2 制定の概要

(1) 事業の内容（第2条関係）

図書館に配架する雑誌に広告を表示する者（以下「スポンサー」という。）は、雑誌の購入費用を負担することにより、雑誌カバー表面及び裏面に広告を掲載する。

(2) スポンサーの資格要件（第3条関係）

スポンサーは、法人その他団体（個人事業主を含む。）を対象とする。ただし、碧南市広告掲載実施規程（以下「広告規程」という。）第3条第1項に規定する業種又は事業者は、スポンサーとなることができない。

(3) 広告の内容（第4条関係）

広告の内容は、広告規程第3条第2項に該当してはならない。

(4) 申込方法及び期間（第6条関係）

ア スポンサーの申込みをしようとする者は、申込書に、掲載を希望する広告を添えて、教育委員会へ提出する。

イ 募集期間は、毎年12月1日から翌年2月1日までとする。ただし、募集期間終了後の申込みも可能とする。

(5) 広告の掲載期間（第8条関係）

広告の掲載期間は、提供雑誌が納入された日から当該年度の3月末までに納入された提供雑誌の次号の発行日までとする。

(6) 広告料の納入（第9条関係）

スポンサーは、選定した雑誌の購入費用を教育委員会が指定する納入業者へ指定する期日までに支払わなければならない。

(7) 広告掲載の振替（第11条関係）

スポンサーが広告掲載する提供雑誌が休刊又は廃刊した場合は、教育委員会と協議の上、別の雑誌に広告の掲載を振り替えることができる。

(8) 広告掲載の取消し（第 12 条関係）

教育委員会は、スポンサーが広告規程に該当、提供雑誌の納入がない等の場合は、広告掲載期間中であっても、広告の掲載を取り消すことができる。

(9) 提供雑誌の所有権（第 13 条関係）

提供雑誌の所有権は、教育委員会に帰属する。

3 他市の状況

市名	実施の有無	開始年度
岡崎市	実施済	H 2 6
豊田市		H 2 9
刈谷市		H 2 6
安城市		H 2 9
西尾市		H 2 3
知立市	未実施	
高浜市		
みよし市	実施済	H 2 8

4 施行年月日等

(1) 施行期日

令和 5 年 4 月 1 日（以下「施行日」という。）

(2) 準備行為

この規程の施行について必要な準備行為は、施行日の前においても行うことができる。

協議事項イ 令和4年度碧南市教育委員会点検・評価報告書について（庶務課）

別添資料1のとおり

報告事項ア 9月議会一般質問内容及び回答について（関係各課）

9月議会 質問内容及び回答

課名 庶務課

議員名	質問内容	回答
岡本守正議員	<p>2 小中学校体育館の空調設備設置について</p> <p>(1) 小中学校体育館に早く空調設備を設置すべきです、お答えください。</p>	<p>学校の体育館は気密性に向け断熱性も低く、利用形態も様々で設置場所にも制約があるなど、コストや技術的な課題が多い。現時点ではエアコン設置は考えていない。</p>
新美交陽議員	<p>2 通学路の安全は確保されているか。</p> <p>(3) 危険な場所を把握しているか。</p> <p>(4) グリーンベルトの設置はどの程度進んでいるか。</p>	<p>毎年各学校が安全点検をし、危険箇所を庶務課に報告している。それを通学路安全対策連絡会で協議し、改善できる箇所については対応している。</p> <p>令和3年度末現在での進捗状況は、通学路全体の延長が県道も含め約126kmあり、そのうち歩道等が整備されている箇所が約36.9kmで約29%、カラー化が整備されている箇所が約22.3kmで約18%。</p>

議員名	質問内容	回答
加藤厚雄議員	<p>1 不登校特例校の設置推進について</p> <p>(1) 不登校の定義と碧南市の不登校及び不登校傾向の児童生徒数の推移</p> <p>(2) 文部科学省は本年6月に「不登校に関する調査研究協力者会議」の報告書を取りまとめた。碧南市の不登校児童生徒への学習機会の確保と支援の在り方は</p> <p>ア 誰一人取り残されない学校づくり</p> <p>イ 不登校傾向のある児童生徒に関する支援ニーズの早期把握</p> <p>ウ 不登校児童生徒の多様な教育機会の確保</p> <p>エ 不登校児童生徒の社会的自立を目指した中長期的支援</p>	<p>不登校は、相当の期間学校を欠席する児童生徒で、集団生活に関する心理的な負担で就学が困難なものである。</p> <p>5年前は、(小学校 0.3%) (中学校 2.8%)、現在は (小学校 1.1%) (中学校 2.4%) と推移している。</p> <p>児童生徒の小さな変化の把握に努め、生活アンケートや個別相談の実施など、新たな1人を出さない積極的な支援に取り組んでいる。悩みを相談できる場として、心の教室を設置し、相談員が、児童生徒に寄り添っている。また、スクールカウンセラー、派遣型スクールカウンセラー、スーパーバイザーを配置し、相談活動の充実を図っている。</p> <p>学習機会の確保に向けて、別室対応に加えタブレット端末の活用を行っている。</p> <p>学校以外では、「ほっぷ倶楽部」</p>

	<p>(3) 2016年に成立した「教育機会確保法」では、自治体に対して「不登校特例校」の設置を促し、本年6月に全都道府県への設置を目指す方針を固めた。不登校の子供の状況に合わせた授業カリキュラムを組むことができる「不登校特例校」が注目されているが、この「不登校特例校」についての認識を問う</p> <p>(4) 碧南市において「不登校特例校」の設置は必要と考えるか</p> <p>(5) 碧南市の現段階の状況と合わせて、今後の設置に向けて関係各所への働きかけなど、どのような取り組みをしていくのか</p>	<p>「フリースクールへきなん」を設置している。</p> <p>教育機会確保法の基本理念は、全ての児童生徒が安心して教育を受けられる学校の環境の確保、個々の状況に応じた必要な支援、能力に応じた教育を受ける機会の確保、国・地方公共団体・民間の団体との連携である。このことから、不登校特例校の設置および教育上の効果について注目している。</p> <p>現状として、懸命に何とか登校して学校生活を送ろうと努力している児童生徒が多く、現在行っている施策に重点を置き、粘り強く粛々と進めていく。</p> <p>現時点で、愛知県から特例校設置についての情報はないが、今後も引き続き県の動向に注視していく。</p>
新美交陽議員	<p>2 通学路の安全は確保されているかについて</p> <p>(1) 通学路設定の基準について</p>	<p>歩道が整備された道路、交通安全設備が整備された道路など、安全が確保される道路を基準として</p>

	<p>(2) 現在指定している通学路の安全点検をしているか</p> <p>(5) 「生きる力を育む」学校での安全教育はどのように行っているか</p> <p>< 2 回目質問 ></p> <p>組織的な安全管理の一層の充実を図る。いかなる状況下でも自らの命を守る。主体的に行動する態度の育成。以上のことを目標に安全教育を進めているとの答弁ですが、もう少し具体的にどんな事をやっているのかお答え下さい。</p>	<p>各学校が設定している。</p> <p>碧南警察署、土木港湾課、地域協働課、学校教育課、庶務課が現場確認をしたうえで、具体的な対策を協議してきた。</p> <p>安全対策が必要な箇所は、順次対策を講じている。また、対策が難しい箇所は、通学路の変更や見守り活動、交通安全指導を行い、子供たちの安全確保に努めている。</p> <p>日頃の安全点検については、定期で行う一斉下校での実施、PTA 活動としての実施など、各学校において安全点検を実施している。</p> <p>各学校が策定する安全計画に則り、全ての教育活動において安全教育を進めている。</p> <p>小学校では、安全な登下校の仕方を指導するとともに、碧南警察署等の関係機関の協力を得た交通安全教室を実施している。</p> <p>中学校では、愛知県警察が示している「自転車交通安全利用五則」をもとに、正しい自転車の乗り方</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

		<p>や安全な歩行の仕方について学習している。</p> <p>災害安全としては、すべての学校で避難訓練を繰り返し実施している。</p>
小池友妃子議員	<p>1 市民とともにつくる災害に強いまちづくりについて</p> <p>(4) フェーズフリーを取り入れることについて</p> <p>ウ 人材育成について</p> <p>(イ) フェーズフリーを学校教育に取り入れていくことについて</p>	<p>今年度、防災課から講師を招聘し、教職員を対象に防災研修を実施している。そして、研修会後に、安全計画の見直しとフェーズフリーの概念を取り入れた安全教育についての検討を進めていく。</p>
磯貝忠通議員	<p>2 大河ドラマ「どうする家康」と碧南市の観光と教育について</p> <p>(4) 郷土の歴史教育について</p>	<p>小学3・4年生が、副読本「わたしたちのへきなん」を活用し、400年前の地図を用いて碧南市のひろがりを探ったり、乱杭渡り人形や餅投げ等を通して郷土の文化財や行事について学習したりしている。齋藤倭助をはじめ、「藤井達吉物語」や「山中信天翁物語」等の書籍を図書室に置き、いつでも読めるよう貸し出しを行っている。</p>

		また、小学4年生が、市バスで市内の新田や史跡等の見学を行っている。
--	--	-----------------------------------

課名 スポーツ課

議員名	質問内容	回答
生田綱夫議員	<p>1 スポーツ振興基金の創設について</p> <p>(1) 現在の状況は</p> <p>(2) 創設時期・目的は</p> <p>(3) スポーツ施設整備予定は</p> <p>2 アジア競技大会について</p> <p>(1) 現在の状況は</p> <p>(2) アジア競技大会組織委員会との連携について</p> <p>(3) 担当課等の設置について</p>	<p>市長マニフェストであるスポーツ振興基金の創設に向けて、今年の12月市議会に上程できるように準備を進めている。</p> <p>この基金はスポーツ施設の整備を目的とするが、何処に何をいつ整備するかはまだ決まっていない。</p> <p>アジア競技大会組織委員会へ、令和5年度から1名、令和6年度から1名の職員派遣の依頼があり、職員を派遣することで連携を図る予定である。</p> <p>また、令和6年度には本市に担当課等の設置を検討したい。</p>